

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年10月14日更新

事務事業名		環境美化活動事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり		所属部	市民部
	施策	6	計画的な土地利用の推進		所属課	環境衛生課
	基本事業	16	快適な住環境の整備		所属班	環境衛生班
課長名	担当若名		成果優先度評価結果		①	
上野 幸顕	小畑 英之		コスト削減優先度評価結果		⑥	
予算科目	会計一般	款 4	項 1	目 7	事業連番 10116	法令根拠
合志市美しいまちづくり条例	終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始		事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	くまもとみんなの川と海づくりデーに伴い平成5年度より開始した。各区及び職員等による環境美化活動の推進を行う。平成19年度より燃やすごみの減量化の取り組みとして、地域の美化活動等で発生した枝草類を星山商店に搬入している。また、21年度から合志バイオXへの搬入も開始した。各区による清掃活動の受付について、21年度より環境衛生課が窓口となった。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	各区の清掃活動実施日の把握・実施後の処理、職員等による清掃活動の計画・実施、枝草類の収集運搬
【主な予算費目】	旅費、需用費、役員費、委託料、備品購入費
【意見や要望】	議員から合志バイオXへの搬入要望があった。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)	23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)
各区による清掃活動 河川美化作業 14市環境担当者会議に参加 2回 14市環境担当課長先進地研修に参加 1回	各区による清掃活動職員等による河川清掃(上生川・塩浸川) 枝草等の収集運搬、14市環境担当者会議、担当課長先進地研修への参加
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア: 清掃活動を行った行政区 イ: 河川清掃に参加した職員等	地区 除草作業ボランティア作業時の枝草等の処理委託費の増、及び各種啓発看板の消耗品費を各事業に組み替えたことによる減 人
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)
河川、公園等	(単位) ア: 公園の数 箇所 → イ: 河川の数 本
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)
河川、公園等の草・枝等を適切に処分する	(単位) ア: 処理委託した量 kg → イ:
*③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠	
燃やすごみの減量化の取り組みとして、地域の美化活動等で発生した枝草類を委託事業所へ搬入しているため、成果指標を「処理委託した量」とし、目標値は各区の清掃活動等による枝草類の処理については毎年発生するので前年度目標の6%増の「100,000kg」と設定した。	

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	20年度実績(決算)	21年度実績(決算)	22年度目標(当初予算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	24年度予定	25年度見込
① 活動指標	ア 地区		79	80	80	80	80	80	80
	イ 人		288	0	400	340	400	400	400
② 対象指標	ア 箇所		148	148	148	148	148	148	148
	イ 本		2	2	2	2	2	2	2
③ 成果指標	ア kg		133,780	106,650	106,000	89,300	100,000	110,000	110,000
	イ								
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		繰入金	千円						
		一般財源	千円	1,697	1,582	2,171	2,386	1,981	1,981
	(A) 事業費計	千円	1,697	1,582	2,171	2,386	1,981	1,981	1,981
人件費	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	3	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	3	0	0	0
	正規職員従事人数	人	7	7	7	7	7	7	7
	延べ業務時間	時間	336	232	300	400	300	300	300
(B) 人件費計	千円	1,344	923	1,194	1,648	1,236	1,236	1,236	
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,041	2,505	3,365	4,034	3,217	3,217	3,217	

総トータルコスト
全体計画
～
年度

(期間限定複数年度のみ記載)

0

事務事業名	環境美化活動事業	所属部	市民部	所属課	環境衛生課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部 (SEE) ※原則は22年度の後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input type="checkbox"/> 達成した <input checked="" type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 環境美化推進員をはじめ、環境に対する美化意識の向上は図られたが、各地区で行う美化作業時に出る枝草等が21年度と比較して少なかった。原因は、家庭から出る枝草等の処分について、袋に入れる大きさに伐採して搬出されるなど、ごみ出しの仕方や分別の徹底が図られたことが考えられる。
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 各区清掃活動等の受付時において周知を図ることで、目標達成の見込みがある。 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 毎年、枝草類の処理を行う必要がある。枝草類の処理については、再利用可能な分を合志バイオXに搬入する。美化意識の向上を図ることにより、更なる成果は期待できる。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他の方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 関係課で対応していた各区による清掃活動の受付については21年度より環境衛生課が窓口となった。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 枝草類の処理については、再利用可能な分を合志バイオXに搬入することで削減可能。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 各区の清掃活動の受付については環境衛生課が窓口となったことから業務時間は微増したが、枝草類の処理については、関係課と連携を図ることで削減可能。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 公共用地のみを対象としているので公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 各区による清掃活動の実施、その受付関係を市が行っており役割分担は適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

22年度は、地域の美化活動等で発生した枝草類の処理した量は89,300kgだった。また、悪天候のため、市民、事業所、職員等による河川清掃は実施できなかった。枝草類の処理については、処理可能な分を合志バイオXに搬入する。美化意識の向上を図ることにより、更なる成果は期待できる。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (PLAN)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) 各地区の清掃活動等の受付時に周知を徹底し、環境美化推進員の協力を得て、市民が住みやすい環境の保全に努める	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持																					
	低下																					
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 21年度より、バイオxへの搬入も始めたが、搬入物の条件が厳しく多くの搬入は見込めない。星山商店と併せて、処理可能な搬入が緩和されるよう働きかけていく。																						